

## S: 社会

## 地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

## 金沢工場

所在地：石川県白山市松本町1600-1  
 設立：昭和56年6月  
 従業員：258名(2025年11月現在)  
 主力製品：半導体用材料、  
 塗料・粘着材料樹脂原料 など



佐伯 慎也

金沢工場長 兼製造部長

## 地域との関わりに関する工場長のコメント

## 白山の恵みと最先端技術で、未来を創るものづくり

当工場は1981年に第2工場として操業を開始し、現在は当社の主力工場として高品質な製品を生産しています。白山の自然が育むミネラル豊富な地下水を活用し、自然の恵みを活かした持続可能なものづくりと先端技術で社会に貢献しています。

## 環境対応と省エネルギーへの取り組み

・生産プロセスの改善による効率化

・省エネルギー機器の導入

・再生可能エネルギーの活用

これらの活動を通じて、環境負荷の低減と持続可能な生産体制を構築しています。

## 地域社会との共生

地域の皆様との交流を深めるため、さまざまな社会貢献活動を実施。地域とともに歩む企業として、信頼と絆を大切にしています。

## 地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

## クリーン・ビーチいしかわinはくさん

金沢工場は、石川県の海岸線を守る「クリーン・ビーチいしかわ」活動に参加しました。5月24日には白山市・徳光海岸で清掃活動を実施し、環境保全と地域貢献に取り組んでいます。

これからも、持続可能な社会の実現に向けて、企業としてできることを続けていきます。



## 令和7年度(2025年度)松本町災害訓練

2024年に笠間地区における大規模災害発生時の一時避難場所として、当社社宅屋上を地域住民に開放する協定を締結しました。

2025年11月には、「線状降水帯停滞による大雨の影響で笠間地区の大慶寺川が危険水位に達し、避難指示発令(警戒レベル4)」を想定した訓練を実施し、地域住民の方々の避難誘導や屋上開放手順の確認を行いました。



## 献血

金沢工場は、松本工業団地協議会の一員として、2010年より石川県赤十字血液センターの献血活動に協力しています。毎年、当工場を会場に社員や企業団地の皆様に参加しています。

2025年9月にも献血活動を実施し、多くの方々にご協力いただきました。近年は献血率の低下により血液の安定確保が難しい状況ですが、一人でも多くの命を救うため、今後も活動を続けてまいります。



## 松本工業団地一斉清掃

金沢工場は、地域社会との共生を重視し、白山市が年2回実施する「クリーン作戦」に合わせ、松本工業団地内の一斉清掃活動を継続しています。



2025年度も5月と10月に参加し、公園や側溝などの清掃を実施しました。今後も地域とともに環境保全に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## 白山水源の森づくり事業

金沢工場は、地域の水源涵養と自然環境の保全を目的に、2010年より白山市と協定を結び『白山水源の森づくり事業(大阪有機 未来の森づくり活動)』に取り組んでいます。これまでに植林した木々は1,000本を超え、着実に成長し、水源涵養や土砂災害防止に貢献しています。今後も地域とともに、持続可能な森づくりを推進してまいります。



## 酒田工場

所在地：山形県飽海郡遊佐町藤崎字茂り松157番23

設立：平成12年7月

従業員：39名(2025年11月現在)

主力製品：液晶表示材パターン形成材料、  
化粧品材料、塗料樹脂原料 など



秋田 秀一

酒田工場長 兼製造部長

### 地域との関わりに関する工場長のコメント

酒田工場は、遊佐町、酒田市のある庄内地域とともに歩むことを大切にしています。私たちの事業は地域の皆様の理解と支えによって成り立っており、その感謝の気持ちを形にするため、さまざまな活動を継続しています。地元イベントである森林整備活動や海岸清掃活動、酒田市、遊佐町花火大会への協賛、地元中学、高等学校を中心に工場見学やインターンシップの受け入れを通じて、地域の方々との交流を深めるとともに、次世代

育成にも力を入れています。特に、学校との連携による庄内総合支庁主催の「WAKU WAKU WORK」へ参加し、職業体験会を通じて化学メーカーである当社の仕事を知っていただき、子どもたちにもものづくりの魅力を伝える貴重な機会として取り組んでいます。今後も「庄内地域とともに成長する工場」を目指し、持続可能な社会の実現に向けて、地域貢献活動を積極的に推進してまいります。

### 地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

#### 森林整備ボランティア

2024年12月1日(日)朝8:30より社宅入居者4名にて(西山地区)菅里字十里塚松林においてクロマツの枝打ちに参加しました。松の下枝をノコギリで切り、枝を回収する作業です。寒空の中、黙々と作業を進めるうち、次第に汗をかきながらの活動でした。終盤ごろになると初めの林とは見違えるほどの視界が広がり、とても良い達成感を感じました。



#### 酒田市「職場体験感想文コンクール2024」表彰式

2025年3月4日(火)酒田駅前交流拠点施設「ミライニ」にて、地元中学生を対象とした「職場体験感想文コンクール2024」表彰式が開催されました。入選し表彰された2名の生徒の感想文には、当社を職場体験した感想が綴られていました。なかでも、酒田市内立第三中学校の生徒は、最優秀賞の次にあたる「ハーバーラジオ賞」を受賞されました。感想文には、当社の体験を通じて化学の面白さに気づいていただけたことが伝わり、当社としてもとてもうれしく感じる瞬間でした。



#### 「美しいやまがたの海」クリーンアップ運動 ～in湯野浜海水浴場～

2025年10月4日(土)朝8:30より社員6名にて庄内総合支庁主催の、鶴岡市湯野浜海水浴場の清掃活動に参加しました。当日は天候もよく波も穏やかな中、海水浴場に打ち揚げられたペットボトルや廃プラスチックなどを中心にゴミ拾いを行いました。黙々とゴミを拾う中、一袋では収まらず、二袋いっぱいにして集積場へ持ち込んでいた社員もいました。総勢450名が参集するボランティア活動でした。



#### 軽スポーツとふれあい交流会

2025年11月9日(日)社宅入居者3世帯6名で、社宅近くにある服部興野自治会館で開催された軽スポーツとふれあい交流会へ参加しました。当日は小雨の降るあいにくの天気でしたが、自治会館前のテント内で地域の皆様に交じってモルック競技に参加しました。初めての経験でルールにも戸惑う中、地域の皆様が優しく教えてくださりお年寄りから子どもまで楽しくプレーすることができました。モルックが終わってからは、自治会館の中で「芋煮」を頬張りながらビンゴゲームなどで交流を深めました。



## 大阪事業所

所在地：大阪府柏原市片山町18番8号

設立：昭和36年7月

従業員：45名(2025年11月現在)  
(大阪研究所・先進技術研究所含む)



卯津羅 浩  
大阪事業所長

### 地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

#### 大和川・石川クリーン作戦

今年も、大和川・石川流域の河川清掃活動が2025年3月に開催され、当社からも多くの社員が参加しました。本活動は、府民と行政が一体となり、河川周辺の10市町で毎年実施されている取り組みです。



#### 柏羽藤消防本部 練成会

消防技術の向上を目的として毎年開催されている「消防技術練成会」に参加しました。当事業所では小型ポンプの部に出場し、今年度からは女性社員を含めた男女混合チームで参加しています。



#### 大阪南消防局まちかど救急ステーションに登録

まちかど救急ステーションとは、各事業所に設置されているAEDを消防局に登録し、緊急時に活用する取り組みです。人が倒れた際には、消防指令センターが近隣のAEDを確認し、通報者へ情報提供や設置場所の案内を行うことで、少しでも早く多くの命を救うことを目的としています。



## 光碩(上海) 化工貿易有限公司

所在地：上海市長寧区延安西路2299号2801室

設立：平成26年1月

従業員：5名(2025年11月現在)

主な事業内容：有機化学薬品関連商材の貿易・販売等



前田 章吾  
光碩(上海)化工貿易  
総経理

### 地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

#### 上海日本商工クラブ 資源・化学品部会

年2回開催される総会および年2回のセミナーに参加しています。本部会には、上海に進出している多くの日系化学品メーカーが参画しています。

総会では各社との面識づくりや情報交換を行い、セミナーでは中国ビジネスにおける市況やリスク関連の知識を得ています。特に直近では、国際情勢の変化を踏まえ、各社の対応方針などについて意見交換を行っています。

#### 上海日本商工クラブ 資源・化学品部会 化学品法制分科会

資源・化学品部会内の分科会(化学品法制分科会)に参加しています。年3~4回開催され、一般化学品や危険化学品に関する最新の法規・規制情報の共有、市政府への上申案件に対する回答内容の確認などが行われています。

中国において化学品を取り扱ううえで極めて重要な情報交換の場となっています。

## 神港有機化学工業株式会社

所在地：神戸市東灘区住吉浜町18-26  
 設立：昭和44年4月  
 従業員：54名(2025年11月現在)  
 主力製品：電子材料用溶剤、化粧品材料、  
 塗料/接着剤溶剤 など



松本 純一  
 神港有機化学工業  
 代表取締役

神港有機化学は、1969年の操業開始以来、兵庫県神戸市東灘区の臨海地区において事業を展開しています。長年にわたり培ってきた製造技術および高度な品質管理体制を強みとし、高純度有機溶剤を中心とした化学製品の製造を行ってきました。港湾都市・神戸が有する優れた物流インフラを活用することで、国内産業に対する安定供給体制を構築するとともに、多様化・高度化する顧客ニーズに的確に応える企業を目指しています。

また、事業活動においては、事業所が立地する地域社会との協調を重要な経営課題と位置づけています。神戸市区域における市民防災活動との連携をはじめ、安全・安心な地域づくりに貢献する事業運営を継続することで、地域から信頼される企業であり続けることを目指しています。さらに、持続可能な成長の実現に向け、生産活動におけるエネルギー消費量の削減を重視し、省エネルギー設備の導入や運転条件の最適化など、エネルギー効率の向上に取り組んでいます。これらの取り組みを通じて、環境負荷の低減と高効率な生産活動の両立を図り、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

#### 第27回神戸市東灘区市民放水大会

2025年1月26日、防災意識の向上や地域との連携強化、ならびに震災時の経験と教訓の継承を目的として開催された「第27回神戸市東灘区市民放水大会」に、当社も地域の一員として参加しました。本大会では、地域防災ネットワークのいっそうの充実を図るため、一斉放水訓練が実施され、当社は本年も継続して参加しています。



#### 工場周辺環境のクリーン清掃活動

地域協働の一環として、近隣事業所と合同で工場周辺環境のクリーン清掃活動を実施しました。本活動は例年継続して行っているもので、当日は工場周辺の道路や歩道を中心に、ごみの回収や除草作業を実施しました。地域全体の環境美化に寄与するとともに、事業所としての社会的責任を果たす取り組みとしています。



## 韓国大阪有機化学工業株式会社

所在地：ソウル特別市衿川区加山デジタル2路135  
 設立：令和6年7月  
 従業員：2名(2025年11月現在)  
 主な事業内容：有機化学薬品関連商材の貿易・販売等



向山 高広  
 韓国大阪有機化学工業  
 理事

### 地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

#### ソウル日本人会

ソウル日本人会(SJC)には約1,200人(約320社)が登録しており、韓国大阪有機化学工業も法人会員として加入しています。当社が所属する化学部会では、韓国国内における法改正などの最新情報の共有や、政府への建議事項について意見交換を行っています。また、業務以外においてもサークルや同好会活動が活発に行われており、駐在員同士の貴重な交流の場となっています。

#### ソウル日本人会 2025年大忘年会

2025年12月12日、ソウルのロッテホテルにて、ソウル日本人会(SJC)主催の大忘年会が約170名の参加により開催されました。当社は2024年より、本行事の実行委員メンバーとして参加しています。当日は、在大韓民国日本国大使館 特命全権大使のご挨拶および乾杯のご発声の後、テーブル対抗の利き酒クイズやビンゴゲームなどの交流イベントが行われ、参加者間の親交を深める有意義な機会となりました。

# 大阪有機化学工業株式会社 本社

所在地：大阪市中央区安土町1-8-15(野村不動産大阪ビル)

従業員：39名(2025年11月現在)



## 地域との関わり(事業所のある地域への貢献)

### 次世代へのキャリア教育支援(出前授業)

当社は大阪市教育委員会の依頼により、2025年7月9日に市内中学校2年生を対象とした職業講話を実施しました。将来の進路選択や就労観を育むキャリア教育の一環として、事業紹介動画の視聴や社員による職務説明を通じて「働くこと」の意義を伝えました。授業では、改善の重要性と安全とのつながりを体験的に学ぶ参加型ワーク「ペーパータワー」も行い、生徒たちは協力して塔をつくる過程でチームワークや工夫の大切さを実感していました。

本取り組みが生徒の職業理解を深め、将来を考える契機となることを期待し、当社は今後も次世代育成と地域貢献に取り組んでまいります。



### サンディエゴ州立大学の当社訪問

2025年6月10日に米国のサンディエゴ州立大学の学生17名および教員1名が、当社を訪問されました。アジアにおける教育交流・企業訪問プログラムの一環として、ビジネスを専攻する3・4年生の学生が訪れ、当社以外にも大阪の企業数社を訪問し、万博も見学しました。日本文化への理解を深め、企業訪問を通じて日本経済やビジネスの実際を体験することを目的としています。当社の会社紹介の後のディスカッションでは、海外展開や地政学的リスク、コロナ禍における事業への影響、競争優位性等についてさまざまな質問があり、最後に研究施設の見学を行いました。



# ステークホルダーエンゲージメント

## 基本的な考え方

大阪有機化学工業グループでは、ステークホルダーの皆様との建設的な対話を通じ、未来の子どもたちが幸せにくらせる持続可能な社会を共創してまいります。

## ■ ステークホルダー・エンゲージメントの取り組み

ステークホルダー	主な対話の方法・機会	主な対話窓口
お客様	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日々の営業活動</li> <li>● R&amp;D/品質会議 4~5件/月</li> <li>● 品質監査 1件程度/月</li> </ul>	営業部門 技術部門 品質保証部門
お取引先様	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日々の調達活動</li> <li>● サプライヤー監査 1件程度/月</li> <li>● 技術・品質ミーティング 1~2件/月</li> <li>● 安全講習会(物流事業者対象) 金沢工場/酒田工場/大阪事業所 各1回/年</li> </ul>	購買部門 エンジニアリング部門 品質保証部門 業務部門(運送関連)
株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 株主総会</li> <li>● 個人投資家向け説明会 東京・大阪 2回/年、山形 1回/年</li> <li>● 機関投資家向け説明会 電話会議 2回/年</li> <li>● ONE-on-ONEミーティング 40~50回/四半期</li> <li>● 事業報告書/有価証券報告書</li> </ul>	IR広報部門 経営企画部門
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員エンゲージメント調査</li> <li>● 所属長との面談 6回/年</li> <li>● 入社3年内従業員との面談 1回/年</li> <li>● 社内報 2回/年</li> </ul>	総務部門 各部署
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域団体・イベントへの参加 3~6回/月</li> <li>● 大学との共同研究 2テーマ</li> <li>● 学生との対話(客員准教授)</li> </ul>	事業所 技術部門 営業部門